

日本ユーザビリティ医療情報化推進協議会 (JUMP)

一般社団法人化 記念シンポジウムプログラム

テーマ

「医療等分野のデジタル革命」

～ICTにより全体最適化と目指すべき社会としてのグランドデザインを描く～

開催日時

2018年7月10日(火) 13:30～17:00

聴講料(案)

聴講料 JUMP 正会員企業(無料)、JUMP 賛助会員(1,000円)、5,000円(一般)、学生(無料)
(聴講料には海外視察調査報告書が含まれております。)

会場

津田塾大学 千駄ヶ谷キャンパス (定員 250名)

◆定員になり次第締め切ります。

プログラム

1. 開会挨拶
2. 来賓あいさつ (厚生労働省調整中)
3. 基調講演 森田 朗 JUMP 理事長

・テーマ

「人口減少時代におけるこれからの医療 ICT」

・内容

人口減少時代に突入した日本においては、ICT 活用のあり方が、我が国の将来を左右すると言っても過言ではない。ICTは、社会の多分野で活用され始めているが、まだ欧米諸国と比べて一周遅れの感がある。とくに医療分野では、患者に提供する医療の質を高めるため、また医学研究や新薬の開発等に資するため、さらには限られた医療資源や保険財源のより効率的な活用を図るために有効であり、医療の情報化を推進するためには、さらなるデータベースの作成とともに、それを結びつけるための番号制度とプラットフォームの構築が不可欠である。JUMPは、このような認識の基に、これまでさまざまな活動を行ってきた。この講演では、こうした JUMP の活動を踏まえて、これから目指すべき医療の情報化のあり方およびそれを実現するために克服しなければならない課題について述べる。

4. 欧州における医療情報化最新動向調査の報告

(国際社会経済研究所 遊間 和子主幹研究員)

オランダ・デンマークにおいて、番号制度を活用した患者の識別・確認の仕組みが、医療情報化にどのように貢献しているか、また、医療データ（統計データだけでなく、患者の識別・特定が可能なものを含む）の蓄積と活用が、医療の安全性やサービス品質の向上にどのように貢献しているかなどを報告書にまとめ、海外事例として報告する。

5. パネルディスカッション

テーマ「医療等分野のデジタル革命」

～ICTによる全体最適化と目指すべき社会としてのグランドデザインを描く～

政府は世界に冠たる医療 ICT 活用基盤を構築する方針を立て、医療の安全性と効率性や高度化の向上を目指している。

昨年成立した「次世代医療基盤法」や「個人情報保護法の改正」が我が国の医療の将来にどのような影響を与えるのか、また、データを収集するプラットフォームがビックデータの分析や人工知能(AI)を活用してどのような世界が実現できるのか、それぞれの専門の立場から本当に解決すべき課題と今後の方向性について熱く語っていただく。

【参加者】

コーディネーター 森田 JUMP 代表理事

【パネリスト】

国会議員(調整中)、厚生労働省(調整中)、PMDA 近藤理事長、落合慈之医療トレーサビリティ推進協議会理事長/東京医療保健大学学事顧問、NTT 東関東病院名誉院長、横尾俊彦佐賀県多久市長、鈴木正朝新潟大学教授

◎会場からの質問・提案 ◎

◆申込み方法◆

添付申込書にて下記のメール及び FAX よりお申し込みください。

jimukyoku@j-jump.jp

(03) 6452-9531 (FAX)